

6 本時の目標

- 食品を6つの基礎食品群に分類できる。
- 食品の栄養的特質と6つの基礎食品群が説明できる。

7 指導過程

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点 ※情報教育関連	評価の視点 【評価方法】	資料・準備
導入	1 昨日の夕食か給食の献立を思い出し、食べた食品を書き出す。	○ 献立にはいろいろな食品が含まれ、栄養的にバランスが取れているかを自分で判断できるようになることが大切であることに気付かせる。		ノート
	2 本時の学習課題を確認する。	○ 本時の課題を掲示カードで提示し、各自学習課題を意識して学習するよう促す。		掲示カード
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> いろいろな食品の栄養素を調べよう </div>				
展開	3 6つの基礎食品群について知る。		○ 食品を6つの基礎食品群に分類できる 【ノート】	ピクチャーカード
	4 身近な食品を6つの基礎食品群に分類する。	○ 食品のシールを使って、分類させる。 ○ 作業が早く終わった生徒はシール以外の食品をノートに書かせる。 ○ 個の活動の後、班で答え合わせをさせる。	○ シールを用い個別指導を行う。 ○ シール以外の食品をノートに書かせ、理解を深めさせる。	ピクチャーカード
展開	5 自分がよく食べる食品の栄養素について調べる。	○ 精白米を例に、食品に含まれる栄養素は複数であることが多いことに気付かせる。 ○ 食品成分表を使って栄養的な特質をまとめさせ、どの食品群に属するかを考えさせる	○ 食品の栄養的特質と6つの基礎食品群が言える。	教科書
	5 1日に食べる分量中のカルシウムの量について知る。	○ 食品成分表の栄養素の種類や量と、1回に食べる量は食品によって違うので、注意が必要であることを理解させる	【ワークシート】 ○ 机間指導を行い個別指導をする。 ○ 鉄分についても調べさせる。	食品例 ワークシート 自己評価表
まとめ	7 本時のまとめをする。			